

みんなの思いが まちを変える

～ チーム三木によるまちづくり～

問(市)縁結び課 地方創生係

市では、「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現に向け、チーム三木(市民・議会・企業・団体・行政)による協働のまちづくりを推進しています。

また、近年では市が公共性の高い取組を行う民間事業者や教育機関などとの間で締結した連携協定に基づいて、住民の安全安心・健康・学びなど多分野のサービスを提供する取組も進んでいます。

連携協定とは、官公庁と民間事業者などが互いに連携しながら物事を進めていく枠組のことで、行政が地域の課題を自ら打ち出しながら、自治体の強みである地域とのつながりと民間事業者のノウハウ・知の財産などを互いに活かすことで、地域課題の解決やより良い住民サービスにつながる事が期待されます。

今回の特集では、多くの人の思いが込められたまちづくりの事例を紹介いたします。

紹介した事例は一例です。その他の連携事業などは市ホームページをご覧ください。



民間企業からチーム三木に新たな仲間が！

サントリーホールディングス㈱からチーム三木の一員として、まちの活力と魅力の増進に取り組むため、市に出向中の岡本浩志さんにお話を聞きました。

Q 三木市で働くことになったきっかけは？

事業で得たものを自社だけでなく、お客様や社会に還元する「利益三分主義」を価値観に持つ企業に30年以上勤務する中で、もっと広い視点を持って何か社会に貢献できることがしたいと思っていました。内閣府が実施する地方創生人材支援制度を活用していた三木市の募集内容を見て、チーム三木の一員として地域貢献がしたいと思い応募しました。

Q どんなことをしていますか？

以前から市が進めてきたインバウンドゴルフリズムをアフターコロナを見据えてブラッシュアップすることに加え、官民連携で地域課題を解決する2つのプロジェクト(5ページ下段で紹介)に携わりました。難聴者のコミュニケーション支援に向けた実証実験では障害福祉課の皆さんと一緒に取り組む中で、支援



縁結び課 地方創生係
全幹 岡本 浩志さん

Q 今後取り組みたいことは？

地域課題を官民連携で解決する。この枠組みで市役所内をはじめ、市に関わる皆さんと協働する仕事したいです。関係人口の創出・拡大のため、大阪・関西万博を見据えて三木市だからこそできるインバウンドゴルフリズムを推進し、地域資源に触れた方が三木市のファンになるような仕組みを作りたいです。

＼ 若者の意見を市政に反映 /

三木若者ミーティング



関西国際大学

市内4高等学校

神戸星城高等学校

三木市

若者にとって魅力あるまちづくりを進めるため、令和2年度から毎年度開催しています。

令和4年度はクールチョイスをテーマに、データに基づいたアイデア検討の手法を学ぶとともに、地球環境を守る取組のPR方法について、未来を担う若者自身に考えてもらい、グループワークや発表会を行いました。

進行役として話し合いを進める難しさや達成感を知ることができました。次回も参加したいです！

関西国際大学
経営学部経営学科2年
ひらい あきひろ
平井 章裕さん

＼ デジタル技術で事故を未然防止 /

送迎用バスの乗客置き去り防止に向けた実証実験



㈱エヴィクサー

三木市保育協会

三木市

送迎用バスの乗客置き去り防止に向け、デジタル技術を活用することで、費用や負担を抑えながらも「園児の安全」「保護者の安心」「園の負担軽減」の三方を解決できる仮説から実施しました。

バスの運行後に運転手やスタッフによる車内の見回りの際に、スマートフォンで車内に貼られた二次元コードを読み取ることで、全座席を確認したことがリアルタイムで園関係者などに通知できます。

問(市)教育・保育課 指導係

＼ 難聴者のコミュニケーションを支援 /

HYOGO TECH イノベーションプロジェクト



兵庫県

㈱時空テクノロジーズ

三木市

コロナ禍における生活様式の変化に伴い、マスクで口元や表情を読み取ることが困難となった難聴者のコミュニケーションを円滑化するための実証実験を進めています。

これまでの手話や要約筆記でのコミュニケーション支援に加えて、AIレコーダーを使って話し手の発言をリアルタイムで文字化する仕組みを導入することで、誰もが安心して利用できる窓口づくりを推進します。

問(市)障害福祉課 障害者支援係

＼ 人手不足解消・関係人口創出の糸口に /

兵庫県×おてつたび@三木



兵庫県

㈱おてつたび

三木市

三木市という場所すら知らなかったのに、いろんな人と出会うことができたので、すごく充実した1週間でした！

農業の人手不足解消や関係人口創出の糸口として、県と連携して開催。お手伝いと旅を掛け合わせたマッチングサービスを通じて県外から訪れた2人の大学生が市内で農業に従事し、黒大豆枝豆の選別作業やイチゴ苗の世話をを行うとともに、市内観光地などを巡りました。

問(市)縁結び課 地方創生係



佐賀県から参加した
大学4年生
品川 真衣花さん